

令和5年度 滝頭地域ケアプラザPDCAシート公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—		
◆ 事業計画		
☐ 地域の現状と今後の方向性		
地域の現状として、起伏の多い地域であり地域ケアプラザに気軽に通うのも高齢者にとっては難しいところがあります。また、地域包括ケアシステムの構築については初期段階にあります。 今後の方向性として、従来どおり積極的に地域に出向き、顔の見える関係作りを引き続き行います。また学校関係者等との連携を深め、生徒や保護者にも地域ケアプラザの周知を図ったり、広報誌や事業のチラシの配布場所を拡充します。地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域関係者や区役所・区社協・介護保険事業所などとの繋がりを強め推進を図ります。		
☐ 今年度の重点的な取組		
新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	男性・ADL自立・前期高齢者に焦点を絞り事業を展開していく。歩行・転倒予防を目的に講師を招いたり、外歩きをしたりしながら地域貢献もできる男性グループのコアメンバーを獲得する。
☒	☐	地域住民との場を持ち、岡村西部の新しい「地域の場」を活かせるよう、「介護予防パートナー」と協力し周知と支え合いを働きかけ、滝頭地区では、外出支援の“機会の種”と地域にない「子どもの居場所」づくりの協議体を開催する。
☐	☒	住民より移動販売があったらいいのに、という声を聞くことがあった。坂の上にある高齢化が進んでいる分譲住宅への支援として、全戸アンケート等により住民の困りごとや望む支援を把握、解決すべき課題があれば具体的な方法を検討していく。
☐	☒	子育て事業や障害分野では、保護者に社会参加や交流の「場」を提供する。また、世代間交流を図るために高齢者と子供を対象とした事業を行う。
☐	☒	高齢者が参集する機会に消費者被害について周知啓発に努める。地域住民・各種団体にも同様に周知啓発し、地域の高齢者の見守りの機運を高める。各種事業開催時に消費者被害防止の啓発物を配布する等して周知啓発に努める。
◆ 事業報告・事業実績評価		
☐ 振り返り		
参加者の年齢は67～82才、平均は75.2才。知り合いではない参加者とは話さない印象があったが、講師の方々が仕掛けたグループワーク等が功を奏し、少しずつ参加者間のコミュニケーションが取れてきている。 「フレイル予防サポーター」が岡村の新しい場でのデビューを果たした。「子どもの居場所」は支援者も増え順調に活動中である。 夏休みに子供から高齢者までを対象とした事業を行い、各回親子・祖母孫での参加があり他参加者とも交流する事が出来、多世代交流を行う事ができた。ポッチャは中途障害者高齢者団体に指導頂き、小学生や親子、高齢者までの参加があり障害の有無や老若男女ともに楽しめるスポーツとして交流の場を提供する事が出来た。 地域や民生委員から消費者被害・特殊詐欺被害について教えて欲しいと昨年以上依頼があった。出張相談会やサロン等で消費者被害防止及び特殊被害防止についての講話や寸劇を通して誰にでも起こり得ると事と認識していただいた。		
☐ 区からのコメント		
特色が異なる連合町内会を二つ担当されている中、積極的に地域ニーズを把握され取り組まれています。また、エリア内の障害児者関連施設等、新たな関係機関や関係団体等と連携も丁寧に対応され地域活動の活性化に取り組まれました。次年度も介護予防の人材育成に力を入れていただき、男性グループやフレイル予防サポーターの新たな活動にむけた展開に期待しております。 引き続き区と連携しながら、地域の皆様の主体的な活動の促進・支援をお願いします。		